



## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年2月13日  
上場取引所 東

上場会社名 山陽電気鉄道株式会社  
 コード番号 9052 URL <http://www.sanyo-railway.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上門 一裕  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務本部副本部長兼マネージャー (氏名) 荒木 素直 TEL 078-612-2032  
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	34,575	0.1	3,517	0.0	3,440	2.5	2,029	3.2
25年3月期第3四半期	34,546	1.1	3,516	4.3	3,357	7.4	1,967	11.3

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 2,761百万円 (22.7%) 25年3月期第3四半期 2,250百万円 (45.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	18.26	—
25年3月期第3四半期	17.70	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	96,783	31,570	32.0
25年3月期	97,636	29,258	29.4

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 31,004百万円 25年3月期 28,733百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	2.00	—	2.00	4.00
26年3月期	—	2.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	2.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,477	△4.9	3,816	18.9	3,658	22.6	2,187	35.1	19.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

26年3月期3Q	111,652,992株	25年3月期	111,652,992株
26年3月期3Q	472,289株	25年3月期	459,166株
26年3月期3Q	111,187,288株	25年3月期3Q	111,196,740株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府主導の経済政策により、企業業績が改善し、個人消費にも持ち直し傾向が見られるなど、景気全体としては回復基調で推移いたしました。

このような情勢のなかで、当第3四半期連結累計期間の業績は、営業収益が34,575百万円と前同四半期連結累計期間に比べ29百万円(0.1%)の増収、営業利益は3,517百万円と前同四半期連結累計期間に比べ0百万円(0.0%)の増益、経常利益は3,440百万円と前同四半期連結累計期間に比べ83百万円(2.5%)の増益となり、四半期純利益は2,029百万円と前同四半期連結累計期間に比べ62百万円(3.2%)の増益となりました。

#### ①運輸業

鉄道事業におきましては、沿線の観光地である姫路・須磨の魅力を積極的に発信するとともに、「三宮・姫路1 dayチケット」をはじめとする各種企画乗車券の販売を通じて、さらなる旅客誘致に努めました。また、大河ドラマ「軍師官兵衛」の放映開始に先立ち、関西の同業社局等と共同で「ひめじの官兵衛1 dayチケット」を企画したほか、ホームページに沿線のゆかりの地を紹介する特設ページを開設するなど、積極的にPR活動を行いました。施設面では、踏切支障報知装置設置工事などの安全対策工事に継続して取り組んだほか、平成26年春の交通系ICカードの全国相互利用開始に向け、券売機や改札機等の更新を順次進めました。

バス事業につきましては、山陽バスにおいて神戸市の垂水・舞子地区および明石市東部を中心に営業路線を展開するなか、ダイヤ改正や停留所の新設を通じて、引き続き利便性の向上をはかりました。また、タクシー業では、山陽タクシーにおいてスマートフォンによる配車サービスを新たに開始するなど、旅客サービスの向上とさらなる利用促進に努めました。

運輸業全体では、平成25年4月の「神戸ハーバーランドumie」開業等により、外部顧客に対する営業収益は13,869百万円と前同四半期連結累計期間に比べ24百万円(0.2%)の増収となり、営業利益は1,906百万円と前同四半期連結累計期間に比べ24百万円(1.3%)の増益となりました。

#### ②流通業

流通業におきましては、平成25年7月に開店60周年を迎えた山陽百貨店では、JR姫路駅前に大型商業施設が開業して競争激化が進むなか、食料品売場のさらなる充実をめざし、ベルギーワッフル「マネケン」などの新規テナント誘致や地階フロア等のリモデルを実施しました。また、百貨店ならではの強みを活かし、著名作家の個展を企画したほか、毎年ご好評をいただいている屋上ビアガーデンを引き続き開催するなど、一層の集客拡大に努めました。

流通業全体では、近隣商業施設との競争激化などにより、外部顧客に対する営業収益は15,296百万円と前同四半期連結累計期間に比べ92百万円(△0.6%)の減収となり、営業利益は106百万円と前同四半期連結累計期間に比べ107百万円(△50.3%)の減益となりました。

#### ③不動産業

不動産業のうち分譲事業につきましては、西宮市での「エスコート西宮グランハーツ」、神戸市須磨区での「エルグレース須磨 妙法寺川公園」、大阪府吹田市での「ザ・千里ガーデンズ」の引渡しを行いました。また、堺市南区での「プレイズ堺 光明池」の建設・販売、神戸市中央区での「ザ・パークハウス 神戸ハーバーランドタワー」の建設にも注力いたしました。賃貸事業におきましては、山陽明石駅南東に商業ビルを建設いたしましたほか、大阪市西天満地区および阪神尼崎駅前での賃貸マンション、加古川市尾上町での介護付有料老人ホーム「チャーム加古川尾上の松」の建設工事を進めました。このほか、明石駅前南地区での再開発事業に参画するなかで、事業基盤の一層の強化に取り組みました。

不動産業全体では、分譲規模の差により、外部顧客に対する営業収益は2,600百万円と前同四半期連結累計期間に比べ228百万円(9.6%)の増収となり、営業利益は1,403百万円と前同四半期連結累計期間に比べ76百万円(5.8%)の増益となりました。

#### ④レジジャー・サービス業

レジジャー・サービス業におきましては、舞子ホテルで定期的を開催するブライダルフェアを通じて邸宅ウェディングの魅力を発信し、婚礼件数のさらなる増加に努めましたほか、須磨浦山上遊園において、ご家族で楽しめる体験型イベント「ワクワクわんぱーク」を定期的に開催するなど、行楽客のさらなる誘致に努めました。

レジジャー・サービス業全体では、飲食業で売上が減少いたしましたことから、外部顧客に対する営業収益は1,804百万円と前同四半期連結累計期間に比べ118百万円（△6.2%）の減収となりましたが、経費の削減により、営業損失は62百万円と前同四半期連結累計期間に比べ29百万円改善しました。

#### ⑤その他の事業

一般労働者派遣業、設備の整備業などその他の事業におきましては、新たな外部顧客の獲得に努めたものの、外部顧客に対する営業収益は1,004百万円と前同四半期連結累計期間に比べ11百万円（△1.2%）の減収となり、営業利益は122百万円と前同四半期連結累計期間に比べ9百万円（△7.0%）の減益となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ852百万円減少し、96,783百万円となりました。また、純資産は前連結会計年度末に比べ2,311百万円増加し、31,570百万円となり、自己資本比率は32.0%となりました。

増減の主な内訳は、資産の部では現金及び預金が2,875百万円、建物及び構築物が772百万円、それぞれ減少し、また、建設仮勘定が1,510百万円、投資有価証券が1,103百万円、それぞれ増加しております。負債の部では、支払手形及び買掛金が1,950百万円、長期借入金が4,171百万円、それぞれ減少し、また、流動負債のその他が1,575百万円、長期前受工事負担金が1,543百万円、それぞれ増加しております。純資産の部では、利益剰余金が1,585百万円、その他有価証券評価差額金が690百万円、それぞれ増加しております。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3四半期までの業績及び今後の見通しを勘案し、平成25年11月12日に公表しました業績予想を変更いたしております。通期の業績予想につきましては、営業収益46,477百万円（前期比△4.9%減）、営業利益3,816百万円（前期比18.9%増）、経常利益3,658百万円（前期比22.6%増）、当期純利益2,187百万円（前期比35.1%増）を見込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,240	6,364
受取手形及び売掛金	2,144	2,061
有価証券	699	699
商品及び製品	990	1,249
分譲土地建物	4,445	4,712
繰延税金資産	290	340
その他	647	813
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	18,454	16,238
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	34,392	33,620
機械装置及び運搬具（純額）	4,185	3,727
土地	19,225	19,441
建設仮勘定	10,542	12,053
その他（純額）	1,450	1,395
有形固定資産合計	69,797	70,237
無形固定資産	433	434
投資その他の資産		
投資有価証券	5,090	6,193
長期貸付金	65	72
繰延税金資産	282	269
その他	3,529	3,355
貸倒引当金	△16	△16
投資その他の資産合計	8,951	9,874
固定資産合計	79,182	80,545
資産合計	97,636	96,783

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,637	4,686
短期借入金	7,237	7,181
未払法人税等	1,014	685
賞与引当金	143	267
役員賞与引当金	30	—
商品券等使用引当金	328	324
その他	6,437	8,013
流動負債合計	21,829	21,159
固定負債		
社債	6,000	6,000
長期借入金	22,792	18,620
繰延税金負債	104	489
退職給付引当金	1,446	1,440
長期前受工事負担金	9,857	11,400
受入敷金保証金	5,390	5,211
その他	957	890
固定負債合計	46,548	44,054
負債合計	68,377	65,213
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,090	10,090
資本剰余金	6,851	6,851
利益剰余金	10,977	12,562
自己株式	△129	△135
株主資本合計	27,789	29,369
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	944	1,635
その他の包括利益累計額合計	944	1,635
少数株主持分	525	566
純資産合計	29,258	31,570
負債純資産合計	97,636	96,783

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
営業収益	34,546	34,575
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	27,104	27,117
販売費及び一般管理費	3,924	3,941
営業費合計	31,029	31,058
営業利益	3,516	3,517
営業外収益		
受取利息	7	6
受取配当金	67	104
持分法による投資利益	0	0
雑収入	333	314
営業外収益合計	408	425
営業外費用		
支払利息	404	359
雑支出	163	142
営業外費用合計	568	502
経常利益	3,357	3,440
特別利益		
工事負担金等受入額	150	—
受取補償金	—	24
収用等特別勘定取崩益	—	23
固定資産権利変換益	—	14
固定資産受贈益	—	2
特別利益合計	150	64
特別損失		
固定資産除却損	10	29
工事負担金等圧縮額	150	—
減損損失	0	10
収用等代替資産圧縮損	—	23
権利変換に伴う固定資産圧縮額	—	14
その他	—	0
特別損失合計	161	78
税金等調整前四半期純利益	3,346	3,427
法人税、住民税及び事業税	1,397	1,384
法人税等調整額	△67	△26
法人税等合計	1,329	1,358
少数株主損益調整前四半期純利益	2,017	2,068
少数株主利益	49	38
四半期純利益	1,967	2,029



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,017	2,068
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	233	692
その他の包括利益合計	233	692
四半期包括利益	2,250	2,761
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,202	2,720
少数株主に係る四半期包括利益	48	41

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・ サービス業	その他の 事業	計		
営業収益								
(1) 外部顧客に対する 営業収益	13,845	15,389	2,372	1,922	1,016	34,546	—	34,546
(2) セグメント間の内部営業 収益又は振替高	325	44	663	56	1,427	2,516	△2,516	—
計	14,170	15,433	3,036	1,978	2,443	37,063	△2,516	34,546
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,881	214	1,326	△92	132	3,462	54	3,516

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、セグメント間取引消去54百万円であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年12月31日）

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・ サービス業	その他の 事業	計		
営業収益								
(1) 外部顧客に対する 営業収益	13,869	15,296	2,600	1,804	1,004	34,575	—	34,575
(2) セグメント間の内部営業 収益又は振替高	317	46	633	41	1,365	2,404	△2,404	—
計	14,186	15,343	3,234	1,845	2,370	36,980	△2,404	34,575
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,906	106	1,403	△62	122	3,476	40	3,517

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、セグメント間取引消去40百万円であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。